

第12回 こども10円商店街 実施報告書

NPO 法人 まちなびや

◇事業趣旨

子どもが商品販売やサービスを提供する「自分の店」を企画運営する体験を通して、多世代の人々との関わりを学習する。また、大人がお客となってこども店長を応援することで、地域の教育力向上を目指す。

◇実施内容

1 第1回店長会議 2月2日(日) 9:30~11:30

葵生涯学習センター 大音楽室

参加者 こども店長 27名 保護者 13名 スタッフ 8名

- ・保護者・こども合同ガイダンス
- ・販売品・提供サービス、店名を決める
- ・あいさつの練習
- ・看板(のぼり旗)作り

※11:30~14:00まで、昼食後に商品・看板製作(希望者15名ほど)



2 第2回店長会議 2月9日(日) 9:30~11:30

葵生涯学習センター 大音楽室

参加者 こども店長 27名 スタッフ 7名

- ・販売リハーサル・売上表記入練習

※11:30~14:00まで、昼食後に商品・看板製作(希望者14名ほど)

3 こども10円商店街本番 2月23日(日) 10:00~12:00 13:00~15:00

葵生涯学習センター 入口ロビー

参加者 こども店長 27名 スタッフ 8名 しずおか焼津信用金庫 10名

一般来場者 2297名

- ・販売、サービスの提供 → 総売上 15,689円
- ・両替対応・売上集計(協力:しずおか焼津信用金庫)



<出店一覧 全12店>

販売系	ゲーム・くじ系
<ul style="list-style-type: none"> ・手づくりショップ ・いえでもつくれるデコめいしや ・いろいろざっか 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうりゅうバスター ・つりスター ・バンバンしゃてき ・楽しいコインおとし ・ボールシューティングゲーム ・ハラハラどきどきめいろ ・海のクレーンゲーム ・楽しいスーパーボールすくい ・ビー玉ころがし

4 第3回店長会議 3月1日(日) 9:30~11:30

葵生涯学習センター 大音楽室

本来は本番を終えての振り返り寄付先の検討・お楽しみ会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

そのため、当日はスタッフ5人が待機、荷物を取りに来た子ども店長や保護者に修了証と寄付先資料・投票用はがきを渡した。来館しなかった子ども店長には郵送した。

寄付先の投票用はがきは3月11日に締め切り、19通が届いた。内訳は下記の通りである。

しずおかおちゃっこ会 16通(84%) 金額 13,178円

第13回子ども10円商店街 3通(16%) 金額 2,511円

上記寄付金は、3月15日に子ども10円商店街スタッフより、しずおかおちゃっこ会様へお渡しした。(まちなびやブログ：<https://houkago183.exblog.jp/28006411/>)



◇事業の成果

1：子ども自身がどんなモノ・サービスが提供できるか考える大切な機会となった

本番前の店長会議2回で、接客やお金の扱い方など、お店運営のために必要な知識を学んだ。しずおか焼津信用金庫様のお話がとてもわかりやすく、アンケートでも「むずかしかった」と答えた子は0人だった。お店づくりでは、グループの中で店の内容や手順などを話し合い、リハーサル等行い準備を重ねた。本番ではお客様を積極的に呼び込むこともでき、店長会議の成果が表れた。

2：本事業に対する子どもたちの満足度が高い

今回は「リハーサル」の意味がくみ取れず、この日までに準備ができていないお店がいくつか見られた。少し心配だったが、リハーサル後も残って準備をするなど、本番までにはお店の準備がしっかりできた。本番後のふりかえりでは「はじめはよく、ていねいに接することが出来なかったけど、だんだん

上手に接することが出来た」「うれしそうなすがたがみれてうれしかったです」「たくさんお客さんが来てくれてうれしかったです」といった記述があり、子ども自身が自分の成長を実感できたり、接客に手ごたえを感じたりしたことが伺える。

また、保護者アンケートで「本番後、『お店の人って、準備とかもあるし、ぼく達は1時間半だけど、普通の人って何時間もやっているからお仕事するのって大変なんだねー』としみじみ言っていました」という記述があり、子どもが実体験をふまえ、仕事についてしっかり考えられたことが伺える。「とても良い企画で子どもたちも働くことの楽しさ、大変さを学べたと思います。売上金がすべて寄付されるといふ点も、子どもたちにとってはよい経験になりました。また参加したいです!」といった感想もあり、準備から時間をかけて当日を迎える本プログラムが働くことの楽しさと大変さをどちらも学ぶことができ、こども店長や保護者の満足度が高い結果につながっていると推察される。

一方、今後の課題として、下記が挙げられる。

●「材料費をかけずに作る」ことの周知

本事業では、家庭で材料費の負担が多くかからないよう、主催者側で折紙や画用紙・割りばし・紙類など素材を多数用意し、お店の商品作りで自由に使えるようにしている。今回、葵生涯学習センターから提供されたスパンコールや手芸小物などは、雑貨づくりや名刺づくりで大いに生かされていた。また、初回に素材の相談があれば、2回目に用意するなど配慮もしている。

しかし、自分が作りたいイメージが明確で、それにふさわしい素材がないと、つつい保護者に買って用意してもらうことがあるようで、材料費が多くかかったお店も見られた。今後、できる限り素材を多様に準備し、こども店長や保護者への周知を心がけたい。

また、第11回実施の店長会議後のものづくり相談会では、寄付先団体の柚プロジェクトさまが木工策教室を実施、その成果が商品づくりに活かされていた。このように、ものづくり相談会のなかで、今ある素材を生かし材料費をかけずに作れる工作など、ものづくりのレクチャー実施を検討したい。こうした活動を行うことにより、寄付先と子どもたちの新たな関わりにもなることも考えられる。

◇実施体制

主催：静岡市葵生涯学習センター、NPO 法人まちなびや

協力：しずおか焼津信用金庫、千代田スクール、静岡大学教育学部塩田研究室

◇後援 静岡市教育委員会

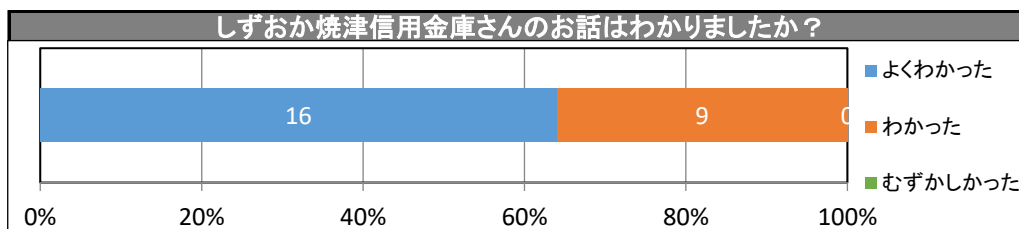
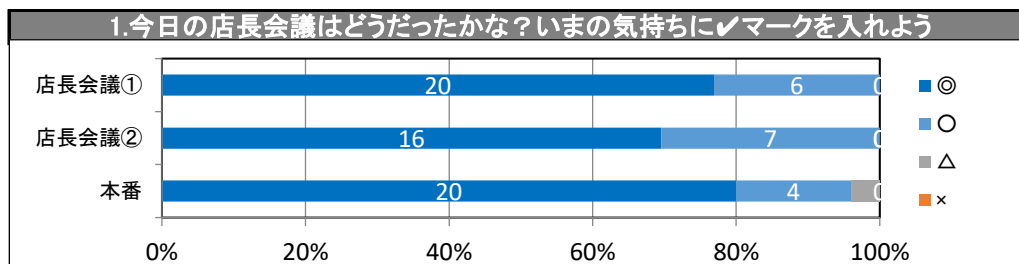
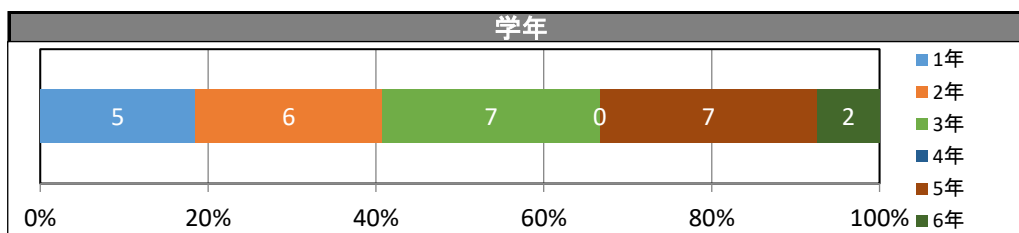
◇大人スタッフ

葵生涯学習センター 山河様・内山様

まちなびや 板倉りえ子、多々良和樹、田中知子、戸谷雄一、廣瀬拓哉、村田優、弓削幸恵、勝村明

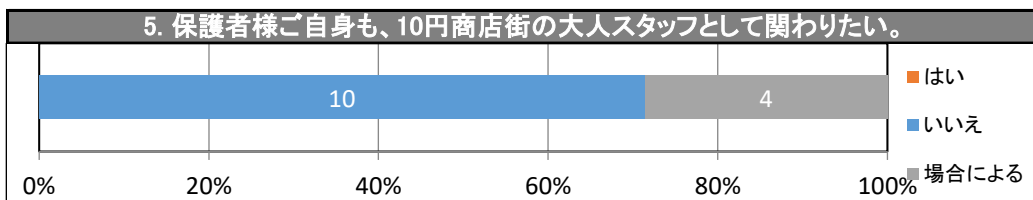
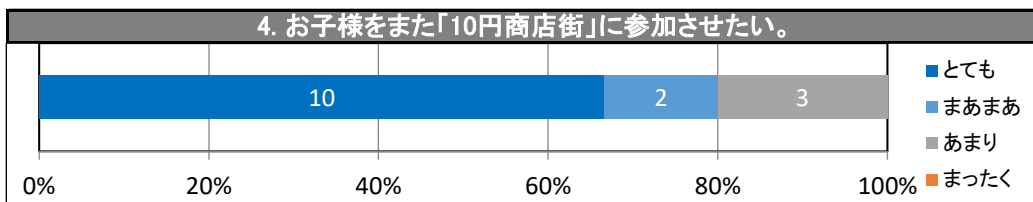
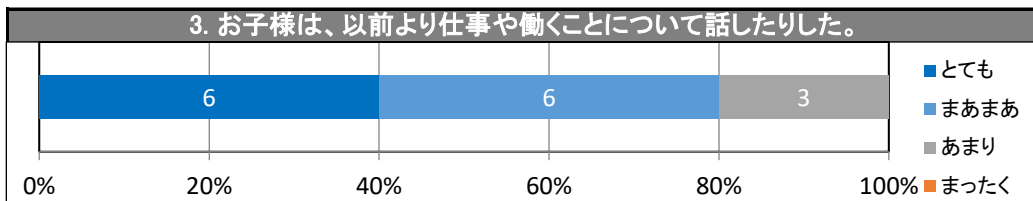
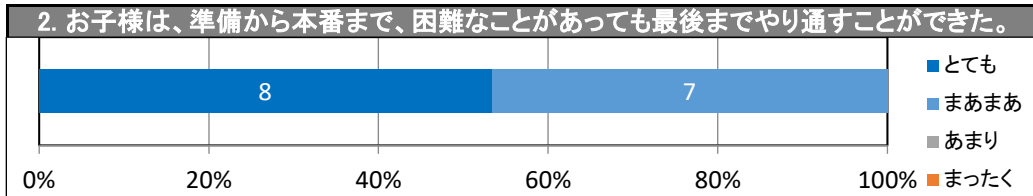
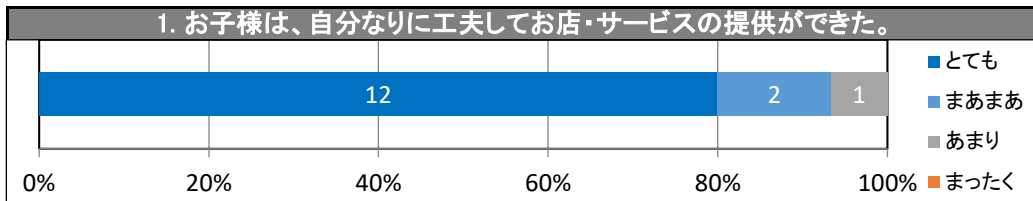
第12回こども10円商店街 こども店長アンケート結果 保護者

▶グラフ



感想		
店長会議①	店長会議②	本番
しずおかやいづしんようきん こがあたらしくできたことを しれてよかった	店がすごくこんでたいへん だった。	きょねんよりもこんでなかつ たのにきょねんよりおかねが かせげたらよかった。
お金が、こういうようにつか われることがわかってうれし かった。	ルールをかかないと人がこま る。でも、いっぱいおきやく さんがきてくれてよかったで す。	今日始めてやったけど、楽 しかったけど、ちょっとたい へんでした。とてもたのし かったです。
会議だけで楽しかったので、 本番が楽しみ	本番も協力してがんばりたい	はじめはよく、ていねいに接 することが出来なかったけ ど、だんだん上手に接するこ とが出来た。
かんたんなこととむずかしい ことがわかった。	思っていたより多く人が来て くれてうれしかった。	うれしそうすがたがみれて うれしかったです。
はじめてで思ったよりじゅん びが大へんでした。	サービスもつけたほうがいい と思いました。	たくさんお客さんが来てくれ てうれしかったです。

▶グラフ



6. その他、自由にご記入ください。(お子様の変化、この企画についてなど)

本番後、「お店の人って、準備とかもあるし、ぼく達は1時間半だけど、普通の人って何時間もやっているからお仕事するのって大変なんだねー」としみじみ言っていました。

とても良い企画で子どもたちも働くことの楽しさ、大変さを学べたと思います。売上金がすべて寄付されるという点も、子どもたちにとってはよい経験になりました。また参加したいです！

2回目の参加でした。初回は自分でお店を出すことにがんばりましたが、今回は売上や売り方、売るためには協力しなくてはならないことなど本当のお金を使うことの重みも感じていたと思います。いい経験をありがとうございました。